

開催期間

平成29年6月～平成30年3月

※民間団体の要請等により期間外においても記念事業を開催しました。

基本コンセプト

1

大阪港開港150年を市民の皆様とともにお祝いします。

大阪港開港150年を機に、大阪港が市民から愛され、誇り、親しむ港となるよう、市民の皆様とともにお祝いします。

2

先人たちの功績を称え、感謝します。

大阪港は他港にはない、港の歴史があります。奈良時代は遣隋使、遣唐使の母港、江戸時代は北前船の母港、明治時代の築港運動など、先人たちによって大阪港は築かれました。その歴史を振り返ります。

3

大阪港への愛着を深める機会とします。

今日の大阪港は、近代において臨海部では港湾・物流機能が集積するとともに、工場などの生産性を主とした土地利用が行われてきた結果、大阪港を身近に感じにくい市民も増えてきているため、大阪港を身近に感じ、愛着を深める機会を創出します。

4

港間の国際交流等を通じて大阪港港勢伸長の契機とします。

大阪港は、わが国の経済を支える屈指の貿易港として、国際ビジネスの拠点となっています。そのため、開港150年を機に、大阪港がこれまでお世話になった皆様に感謝し、大阪港を支えてきた関係者間の交流を深め、新たな交流を創出し、情報を発信・交換する観点からイベントを開催します。

5

港への集客力を高め、臨海地域の活性化に寄与します。

大阪港には、多くの集客施設、スポーツ施設が存在します。これらの施設でイベントを開催することにより、港への集客力を高め、臨海地域の活性化に寄与します。

6

大阪港の将来を見据え、魅力・役割を再認識する機会とします。

大阪港は、市民生活を支え、多くの集客施設を擁し、コンテナ船・フェリー・クルーズ客船など多くの船が行き交い、そして美しい夕日を眺めることができます。大阪港は市民のたからものであることを再認識し、将来につなげます。

大阪港開港150年記念事業ロゴマーク・PRポスター

大阪港開港150年記念事業をPRするため、平成28年度にロゴマークデザインの公募を行った結果、全国から233作品の応募があり、大阪港開港150年記念事業推進委員会において、最優秀作品(1点)を選定しました。

また、ポスターデザインは、大阪市立工芸高等学校及び大阪市立第二工芸高等学校へデザインを作成を依頼し、在学生在が作成したポスターデザインの中から両校が候補作品3点を選出し、同委員会において、最優秀作品(1点)を選定しました。



ロゴマーク・ポスターデザイン表彰式(平成28年10月18日)

▶▶ 大阪港開港150年記念事業ロゴマーク

大阪港の地形をシンボリックに表現した150が、国際交流の拠点港の位置付けや、国際貿易港としての役割を示し、観覧車に見立てた文字紋章は、港への関心を集め、臨海地域として促進されるランドマークを表しています。シンプルでありながら、デザイン性が高く、親しみやすさ、楽しさがあるロゴマークです。

作成者 宮田 晴之



▶▶ 大阪港開港150年記念事業PRポスター

大阪港のランドマークにより表現された「観光都市・大阪」と世界への発信力の強化にも資するクルーズ客船を組み合わせ、世界に開かれた国際観光都市として発展していくとともに、コンテナを満載した貨物船を配し、港勢が伸長していくことを表した作品です。

作成者 北野 茜

